

2016年
5月

No.211

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

第87回滋賀県民メーデー

野党共闘で安倍暴走政治にストップを

第87回滋賀県民メーデーが1日、県内9地域で開かれ、国民共同の力で戦争法を廃止し、野党共闘で安倍「暴走」政治をストップしようとして全県で1200人が参加しました。

大津膳所公園で開かれた中央集会には500人が参加。さざなみネットは滋賀銀行従業員組合の組合員や先輩組合員とともに5人が参加しました。また湖北会場に1人が参加しました。

大津膳所公園で開かれた中央集会には500人が参加。さざなみネットは滋賀銀行従業員組合の組合員や先輩組合員とともに5人が参加しました。また湖北会場に1人が参加しました。

野党共闘の実現を受けて、共産党、社民党の両代表、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求



める市民の会しが」の代表が挨拶をしました。民進党からはメッセージが届きました。

リレートークでは原発、消費税、保育、年金、不当解雇、青年など課題別の取り組みの報告と訴えがされ、共感の拍手が沸いていました。

メーデー宣言を採択後、パルコ前までデモ行進をし、「賃上げを勝ち取ろう」「憲法改悪は許さないぞ」などと唱和し通行人に訴えました。

滋賀・憲法のつどい

憲法のつどいが5日、大津市生涯学習センターで開かれ、憲法学者の森英樹さんが「『戦争する国』日本へと暴走する『どう立ち向かうか』と題して講演。300人が、さざなみネットから3人が参加しました。森氏は、憲法の擁護義務を負う安倍政権が改憲を主張する異常さを告発するとともに、自民党の改憲草案にある「緊急事態条項」創設の問題点などについて詳しく説明。また、戦争法廃止を求める市民運動や参院選での野党共闘の前進など安倍政権に立ち向かう力が大きくなっていると、闘いの展望を語りました。



道祖神 岩波 美智子さん 画

第62回滋賀県母親大会

子どもたちの未来のため一致団結し、平和な日本実現を

第62回滋賀県母親大会が守山小学校で開かれ、約950人が参加、さざなみネットから4人が参加しました。

午前中は20の分科会に分かれ、話し合い等が持たれました。午後の全体会は地元の子供たちによる「ドラえもん音頭」「よさこいソーラン」の和太鼓と踊りでオープニング。山田美鶴実行委員長は「子どもたちの未来のため一致団結し、平和な日本実現のため、最大限の力を発揮しよう」と、あいさつ。今年も白浪五人衆が、戦争法廃止や原発再稼働反対など滋賀の運動を紹介し、最後は「戦争しないは唯一の平和なり〜」で決まり、大きな拍手が送られました。

記念講演は、詩人のアーサー・ビナードさんが「子どもたちの未来のために今大切なこと」と題し行いました。来日26年になるアーサーさん、英語と日本語のずれは常にあり、米人から見た日本について楽しく聞きました。「戦前、大日本帝国憲法の下では命の価値はゼロだった

が、1947年新憲法が公布され命を保証する憲法ができた。押し付け憲法と言う人がいるが、これは多才な人が練った素晴らしい憲法である。」と述べられ、オバマ大統領が原爆資料館を訪れたが10分弱だったと聞き驚きました。「オバマは『核なき世界』を訴えているが、今後アメリカの核兵器をすべて新しくする、と言っている。安倍首相が平和を口にしながら戦争する国へ突っ走っているのと同じだ。今度の選挙で国民は言葉の本質を見抜く力をつけ目覚めないといけない」と、背中を押ししてもらいました。



基地のない沖縄・日本をめざす運動を大きく広げよう

沖縄が本土に復帰して44年を迎えた15日、明日都浜大津で「沖縄連帯5・15県民のつどい」が開かれました。約80人が、さざなみネットの組合員も参加しました。



安保放棄中央実行委員会常任幹事で元参議院議員の小泉親司氏が、「これがねらい！日米ガイドラインと戦争法・辺野古新基地」と題して講演しました。

小泉氏は、「44年たって沖縄の基地はさらに強化され、『基地なくせ』のオール沖縄のたたかいが広がっている。沖縄だけでなく全国で米軍と一体化した自衛隊基地の大増強など『戦争する国づくり』がすすめられている」と述べ、「根源は日米安保条約と日米ガイドラインだ」と指摘しました。

「基地のない沖縄・日本をめざす運動を大きく広げよう。日米安保条約の廃棄をめざす展覧会をもってたたかいを押しすすめよう」と呼びかけました。

「これがねらい！日米ガイドラインと戦争法・辺野古新基地」と題して講演しました。

田愛基さんら若者を招いて第2弾の市民フォーラムが開かれました。奥田さんは「TAKE BACK DEMOCRACY」と題して講演。集団的自衛権行使容認、安保法制（戦争法）に反対するたたかいの経験をエピソードを交えながら語りました。

尾木ママ（尾木直樹さん）が「子育て・教育と憲法問題」と題して講演。「6人に1人の子どもが貧困家庭。1人親では2人に1人です。幼い時の貧困は学力で大きな遅れが出てくる。憲法で義務教育は無償と書いてあるのに、これほど教育にお金がかかる日本がおかしい。経済格差が教育格差に繋がるのは国家滅亡の方程式なんです。」と語りました。

14日、大津生涯学習センターで「市民の会し」が市民フォーラムを開催。尾木ママ（尾木直樹さん）が「子育て・教育と憲法問題」と題して講演。「6人に1人の子どもが貧困家庭。1人親では2人に1人です。幼い時の貧困は学力で大きな遅れが出てくる。憲法で義務教育は無償と書いてあるのに、これほど教育にお金がかかる日本がおかしい。経済格差が教育格差に繋がるのは国家滅亡の方程式なんです。」と語りました。

野党統一候補を勝利させ新しい政治を」と市民の取り組みが強まっています。



野党統一候補を勝利させ新しい政治を

野党統一候補を勝利させ新しい政治を

